



春の交通安全フェスタ	2面
三鷹市職員を募集中	2面
市からのお知らせ	7面から
Mitakaみんなの防災フェスタ	8面
クラフトビール[M.C KIWI]を ご賞味ください	8面
山本有三記念館 新企画展 「山本有三 住まいの履歴 —活動を支えた家」	8面



書斎での吉村昭(1993年)

最初の太宰治賞受賞者であり、『戦艦武蔵』をはじめとする歴史小説や『関東大震災』などの記録文学で知られる作家・吉村昭(1927-2006年)。井の頭に自宅を構え、敷地内に建てた離れの書斎で数多くの作品を執筆しました。市では寄贈された書斎を移築し、文化施設として整備。吉村が「この世で一番安らぐ場所」と表現した書斎で吉村文学をご堪能ください。

☎同施設 ☎0422-26-7500

## 三鷹市吉村昭書斎

MITAKA CITY YOSHIMURA AKIRA WRITING ROOM

3月9日  
開館



学芸員が  
語る

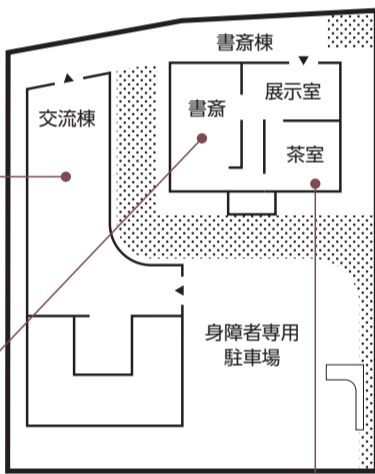
### 吉村昭書斎のここが見どころ!

一番は移築・再現した書斎です。膨大な作品が生まれた書斎の四方を囲む本棚には、当時と同じ書籍が並びます。横幅が2.6mもある長机は、長編歴史小説『天狗争乱』を執筆中の机上を再現しました。史実に向き合い、たくさんの資料に埋もれて筆を進めた吉村が、そこにいるかのような臨場感あふれる空間をご体感ください。

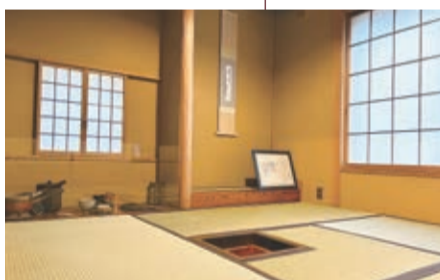
交流棟には、吉村と妻で作家の津村節子の著作が並び、それらを手に取って読むことができます。



交流棟



書斎



茶室

### 吉村昭書斎

**所在地** 井の頭3-3-17  
(京王井の頭線井の頭公園駅から徒歩3分)

**開館時間** 午前10時～午後5時30分

**休館日** 月曜日(休日の場合は開館し、翌日と翌々日が休館)、年末年始

**入館料** 書斎棟100円、交流棟無料

※中学生以下、障害者手帳持参の方と介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭は無料。年間パスポート(300円)あり。



### 開館記念企画展示

### 三鷹で暮らした吉村昭 三鷹市収蔵資料展



井の頭の「富寿司」にて

吉村が近所の親しい友人に贈った品や書簡、原稿を寄せた三鷹市の刊行物など、三鷹での暮らしぶりや素顔がうかがえる資料を紹介します。

📅 令和7年1月13日(月・祝)まで

📍 期間中会場へ

※期間中展示替えあり。

YouTubeで  
配信中  
「河村市長に  
聞いてみた!」



このほど、井の頭公園駅のそばに、作家・吉村昭さんの書斎を移築・再現することができました。ご自宅の庭先にあったこの書斎まで、吉村さんは毎日「通勤」されていました。机の前に座ると周囲には必要なものがすべてそろって、「執筆に集中できる」と上機嫌でお話しされていたことを思い出します。徹底した史実調査に基づく、記録文学の第一人者として知られる吉村さんは、取材でどんなに遠くへ出掛けても、とんぼ返りですぐに書斎に戻られていたというの有名な話です。そのくらい、吉村さんの小説にとって大切な空間だったのです。それと同時に、書斎と同じ敷地の中に、作家であり、愛する奥様である津村節子さん、そしてご家族がいつもいらっしゃるということの意味は、吉村さんにとってとても大きなことだったのかもしれません。その日一日の執筆を終えると、ご近所の行きつけのお店で、編集者の方と一杯飲まれるのも無上の楽しみだったそうです。「文学のまち三鷹」の土壌は、そのようにして耕されてきたのかもしれない。ぜひ、「三鷹市吉村昭書斎」にお越しください。そして、その雰囲気を感じ、たつぷりと味わってください。



三鷹市長  
河村 孝

吉村昭さんについての  
書斎とは

市長コラム